

2月27日（第2日）

2月27日（火）第2日 午前10時00分開議

出席議員

1番	長坂実子	2番	角増正裕
3番	重長英司	4番	岡野数正
5番	熊倉正造	6番	平川博之
7番	酒永光志	8番	上本一男
9番	花野伸二	10番	沖元大洋
11番	上松英邦	12番	吉野伸康
13番	胡子雅信	14番	登地靖徳
15番	浜西金満	16番	山本一也
17番	山本秀男	18番	林久光

欠席議員

なし

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	明岳周作	副市長	土手三生
教育長	御堂岡健	総務部長	仁城靖雄
企画部長	渡辺高久	市民生活部長	山井法男
福祉保健部長	山本修司	産業部長	長原和哉
土木建築部長	木村成弘	会計管理者	島津慎二
教育次長	小栗賢	危機管理監	加川英也
消防長	丸石正男	企業局長	道丹幸博

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	志茂典幸
議会事務局長次長	前田憲浩

議事日程

日程第1	議案第25号	平成29年度江田島市一般会計補正予算（第6号）
日程第2	議案第26号	平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
日程第3	議案第27号	平成29年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
日程第4	議案第28号	平成29年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）
日程第5	議案第29号	平成29年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
日程第6	議案第30号	平成29年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第

		1号)
日程第7	議案第31号	平成29年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算 (第1号)
日程第8	議案第32号	平成29年度江田島市水道事業会計補正予算(第3号)
日程第9	議案第33号	平成29年度江田島市下水道事業会計補正予算(第2号)
日程第10		市長施政方針
日程第11	議案第1号	平成30年度江田島市一般会計予算
日程第12	議案第2号	平成30年度江田島市国民健康保険特別会計予算
日程第13	議案第3号	平成30年度江田島市後期高齢者医療特別会計予算
日程第14	議案第4号	平成30年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別 会計予算
日程第15	議案第5号	平成30年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘 定)特別会計予算
日程第16	議案第6号	平成30年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会 計予算
日程第17	議案第7号	平成30年度江田島市港湾管理特別会計予算
日程第18	議案第8号	平成30年度江田島市地域開発事業特別会計予算
日程第19	議案第9号	平成30年度江田島市宿泊施設事業特別会計予算
日程第20	議案第10号	平成30年度江田島市交通船事業特別会計予算
日程第21	議案第11号	平成30年度江田島市水道事業会計予算
日程第22	議案第12号	平成30年度江田島市下水道事業会計予算

開会(開議) 午前10時00分

○議長(林 久光君) ただいまから平成30年第1回江田島市議会定例会2日目を開きます。

ただいまの出席議員数は、18名であります。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 議案第25号

○議長(林 久光君) 日程第1、議案第25号 平成29年度江田島市一般会計補正予算(第6号)を議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) 失礼します。皆さんおはようございます。

昨日に引き続きましての定例会2日目、どうぞよろしく願いいたします。

ただいま上程されました議案第25号 平成29年度江田島市一般会計補正予算(第6号)でございます。

平成29年度江田島市の一般会計補正予算(第6号)は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億7,868万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ158億393万8,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

繰越明許費。

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

債務負担行為の補正。

第3条 債務負担行為の追加及び変更は、「第3表 債務負担行為補正」による。

地方債の補正。

第4条 地方債の変更は、「第4表 地方債補正」による。

内容につきましては、総務部長から説明いたします。

よろしく願いいたします。

○議長(林 久光君) 仁城総務部長。

○総務部長(仁城靖雄君) それでは議案第25号 一般会計補正予算(第6号)につきまして、歳入歳出補正予算事項別明細書で御説明いたします。

事項別明細書の36ページ、37ページをお願いいたします。

初めに歳入からでございます。

1 款市税は、収入見込みによりまして、1 項市民税、1 目個人は、減額補正。

2 目法人は、増額補正。

2 項、1 目固定資産税及び3 項、1 目軽自動車税は、減額補正。

4 項、1 目市町村たばこ税及び5 項、1 目入湯税は、増額補正でございます。

3 8 ページ、3 9 ページをお願いいたします。

8 款、1 項、1 目国有提供施設等所在市町村助成交付金及び1 0 款、1 項、1 目地方交付税は、交付額の決定に伴います減額補正でございます。

1 2 款分担金及び負担金、2 項負担金、1 目民生費負担金は、保育施設保育料等保護者負担金等の収入見込みに伴います減額補正でございます。

2 目教育費負担金は、放課後児童クラブ保護者負担金の収入見込みに伴います減額補正でございます。

4 0 ページ、4 1 ページをお願いいたします。

1 4 款国庫支出金、1 項国庫負担金、1 目民生費国庫負担金は、障害者福祉費負担金で障害者自立支援給付費負担金などの増額補正を、児童福祉費負担金、児童扶養手当給付費負担金、児童保護費等負担金、生活保護費負担金で、実績見込みによりまして減額補正を行っております。

2 項国庫補助金、2 目民生費国庫補助金は、社会福祉費補助金で地域力強化推進事業補助金の増額補正を、障害者福祉費補助金、児童福祉費補助金、児童手当交付金で、実績見込みによりまして減額補正を行っております。

4 2 ページ、4 3 ページをお願いいたします。

5 目土木費国庫補助金は、道路橋梁費補助金で、特定防衛施設周辺整備調整交付金の減額補正、住宅費補助金で社会資本整備総合交付金の減額補正を行っております。また国の補正予算に伴います社会資本整備総合交付金の増額補正を、道路橋梁費補助金及び都市計画費補助金で行っております。

6 目教育費国庫補助金は、子ども・子育て支援交付金の減額補正でございます。

1 5 款県支出金、1 項県負担金、1 目、民生費県負担金は、障害者福祉費負担金で、障害者自立支援給付費負担金などの増額補正を、後期高齢者保険基盤安定負担金、児童手当負担金、児童福祉費負担金、児童保護費等負担金で、実績見込みによりまして減額補正を行っております。

4 4 ページ、4 5 ページをお願いいたします。

2 項県補助金、1 目総務費県補助金は、実績見込みに伴います生活航路対策事業補助金の減額補正でございます。

2 目民生費県補助金は、地域生活支援事業費補助金の減額補正を4 目農林水産業費県補助金は、多面的機能支払事業費補助金の減額補正を、5 目土木費県補助金は、追加交付に伴います急傾斜地崩壊対策事業補助金の増額補正を、7 目教育費県補助金は、子ども・子育て支援交付金の減額補正を行っております。

3 項委託金、1 目総務費県委託金は、衆議院議員選挙委託金の減額補正でございます。

1 6 款財産収入、1 項財産運用収入、2 目利子及び配当金は、地域福祉基金及び地域振興基金におきます債券運用に伴いまして利子の増額補正を行っております。

46ページ、47ページをお願いいたします。

17款1項寄附金、2目指定寄附金は、ふるさと寄附金の増額補正でございます。

18款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金は、歳出の減額補正に伴うものでございます。

5目地域振興基金繰入金、及び6目灘尾弘吉先生教育振興等基金繰入金は、充当事業の補正に伴います減額補正でございます。

9目山林緑化推進基金繰入金、10目漁港施設維持管理基金繰入金及び11目港湾施設維持管理基金繰入金は、基金の廃止に伴います繰入金の増額補正でございます。

48ページ、49ページをお願いいたします。

19款、1項、1目繰越金は、前年度繰越金の増額補正でございます。

20款諸収入、4項受託事業収入、1目民生費受託事業収入は、受託入園者の増に伴います保育事業受託収入の増額補正でございます。

5項、4目雑入は、臨時職員及び嘱託職員に係ります保険料個人徴収金の減額補正、自治総合センター助成金などの減額補正、議員用タブレット端末利用負担金の増額補正を行っております。

5目過年度収入は、前年度の生活保護費国庫負担金の精算に伴います増額補正でございます。

21款、1項市債、1目総務債は、公共施設再編整備事業の補正に伴います一般単独事業債（合併特例債）の減額補正、及び定住交流促進奨学金返還支援事業の補正に伴います過疎対策事業債の増額補正でございます。

このページ下段から50ページ、51ページをお願いいたします。

2目民生債は、認定こども園えたじまの敷地面積の確定によります土地開発基金の土地の追加購入の補正に伴います一般単独事業債（合併特例債）の増額補正、及び子育て支援センター設計業務の補正に伴います減額補正でございます。

3目衛生債は、ごみ収集運搬車購入費の補正に伴います過疎対策事業債の減額補正でございます。

4目土木債は、都市計画債で下水道事業の執行見込みに伴います過疎対策事業債、住宅債で公営住宅建設事業債の減額補正をそれぞれ行っております。

5目消防債は、大型化学高所放水車購入費の入札執行残の補正に伴います過疎対策事業債の減額補正でございます。

6目教育債は、教育総務債で、通学バス購入費の補正に伴います過疎対策事業債、中学校債で大柵中学校武道場天井耐震改修工事費などの補正に伴います一般単独事業債（合併特例債）、また社会教育債で江田島公民館・大柵公民館耐震補強設計業務の補正に伴います一般単独事業債（合併特例債）の減額補正をそれぞれ行っております。

7目臨時財政対策債は、発行可能額の確定に伴います減額補正でございます。

続きまして歳出でございます。

今回の歳出補正予算の主なもの、職員給与費の減額、事業の執行見込みに伴います不用額や工事請負費などの入札残の減額補正、前年度事業費の精算に伴います国庫・県支出金の返還金の増額補正を計上しております。

人件費につきましては、給料、職員手当等、共済費で、実績見込みによります各款・項・目におきまして計上しております。

その内訳及び合計につきましては、90ページ、91ページの給与費明細書にお示しております。

それでは人件費関係を除く主な補正につきまして御説明いたします。

52ページ、53ページをお願いいたします。

1款、1項、1目議会費は、研修旅費、政務活動費などの減額補正でございます。

このページ下段から54ページ、55ページをお願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、総務一般管理事業費で、通信運搬費の増額補正、及び灘尾弘吉先生顕彰像建立記念タイムカプセル開封事業補助金の減額補正を、人事管理事業費で、他の自治体派遣職員負担金の増額補正を行っております。

3目財政管理費は、ふるさと納税特産品及び通信運搬費の増額補正でございます。

このページ下段から56ページ、57ページをお願いいたします。

5目財産管理費は、財産管理事業費で、火災保険料などの減額補正、及び認定こども園えたじまの敷地面積の確定によります土地開発基金の土地追加購入費の増額補正を行っております。また、公共施設再編整備事業費で、能美市民センター耐震改修工事費などの入札執行残の減額補正を行っております。

6目企画費は、生活交通維持対策事業費で、実績見込みに伴います生活交通路線維持費補助金などの減額補正を、定住促進奨学金返還支援事業費で、実績見込みに伴います定住促進奨学金返還支援事業補助金の増額補正を行っております。

8目交流促進費は、まちづくり推進事業費で、助成額の確定に伴いますコミュニティ助成事業補助金などの減額補正を、地域おこし協力隊事業費で、実績見込みに伴います隊員報酬や社会保険料などの減額補正を行っております。

58ページ、59ページをお願いいたします。

11目防犯対策費は、防犯外灯設置工事の増額補正でございます。

12目安全対策費は、防災事業費及び石油貯蔵施設立地対策等交付金事業費で、入札執行残の減額補正を行っております。

60ページ、61ページの下段から62ページ、63ページをお願いいたします。

4項選挙費、3目市議会議員選挙費及び4目衆議院議員選挙費は、執行残によります減額補正でございます。

このページ下段から64ページ、65ページをお願いいたします。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費は、社会福祉一般事業費及び生活困窮者自立支援事業費で、前年度事業費の精算に伴います国・県支出金の返還金の増額補正を、国民健康保険特別会計繰出金で当該特別会計の補正に伴います増額補正を行っております。

2目障害者福祉費は、障害者福祉事業費で、実績見込みによります扶助費の減額補正を、障害者自立支援事業費で、扶助費及び償還金の増額補正を、障害者地域生活支援事業費で、障害者生活支援事業委託料などの減額補正を行っております。

このページ下段から66ページ、67ページをお願いいたします。

3目老人福祉費は、老人保護措置事業費で委託料の減額補正を、介護保険事業費で返還金の増額補正を、介護保険（保険事業勘定）特別会計繰出金で、当該特別会計の補正に伴います減額補正を行っております。

4目後期高齢者医療費は、後期高齢者医療特別会計繰出金で、当該特別会計の補正に伴います減額補正を、療養給付費負担金で、実績見込みによります減額補正を行っております。

2項児童福祉費、2目児童措置費は、児童手当給付事業費及び児童扶養手当給付事業費で、実績見込みに伴います扶助費の減額補正を、児童福祉施設措置入所事業費で、事務委託料の減額補正を、障害児通所支援事業費では、実績見込みに伴います扶助費の減額補正、及び前年度事業の精算に伴います返還金の増額補正を行っております。

68ページ、69ページをお願いいたします。

3目保育園費は、臨時保育士の賃金及び共済費、認定こども園えたじま新築工事におきます水道開設負担金の減額補正を、前年度事業費の精算に伴います国・県支出金の返還金の増額補正を行っております。

4目児童福祉施設費は、子育て支援センター運営事業費で、前年度事業費の精算に伴います返還金の増額補正、子育て支援センター新築工事設計委託料などの減額補正を、母子・父子家庭等対策総合支援事業費で、実績見込みに伴います減額補正を行っております。

70ページ、71ページをお願いいたします。

3項生活保護費、2目扶助費は、実績見込みに伴います生活保護扶助費の減額補正を、及び前年度事業の精算に伴います返還金の増額補正を行っております。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費は、健康江田島21計画策定委託料の減額補正で、2目予防費は、予防接種者数の実績に伴います予防接種委託料の減額補正でございます。

3目母子保健費は、実績見込みに伴います不妊治療費助成金の減額補正、及び前年度事業費の精算などに伴います返還金の増額補正でございます。

4目健康増進費は、生活習慣病健診受診者の実績に伴います健康診査委託料の増額補正でございます。

72ページ、73ページをお願いいたします。

2項清掃費、2目塵芥処理費は、ごみ焼却処理業務委託料、循環型社会形成推進地域計画策定業務委託料などの減額補正でございます。

4目リレーセンター管理費及び5目環境センター管理費は、それぞれ工事請負費の入札執行残の減額補正を行っております。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費は、実績見込みに伴います新規就農者支援対策事業費補助金などの減額補正、前年度事業費の精算に伴います返還金の増額補正でございます。

74ページ、75ページをお願いいたします。

3項水産業費、2目水産業振興費は、実績見込みに伴います新規漁業就業者支援事業補助金の減額補正でございます。

8 款土木費、1 項土木管理費、1 目土木総務費は、土木業務一般事業費で、入札執行残に伴います備品購入費の減額補正を、地域開発事業特別会計繰出金で、当該特別会計の補正に伴います減額補正を行っております。

このページ下段から 7 6 ページ、7 7 ページをお願いいたします。

2 項道路橋梁費、1 目道路維持費は、実績見込みに伴います減額補正、及び国の補正予算に伴います工事請負費の増額補正を行っております。

2 目道路新設改良費は、道路改良事業費及び特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費で、設計委託料などの減額補正を、道路整備事業県負担金で、増額補正を行っております。

3 項河川費、1 目河川維持改良費は、工事請負費などの減額補正を、2 目砂防費は、工事請負費の増額補正を行っております。

7 8 ページ、7 9 ページをお願いいたします。

4 項港湾費、1 目港湾管理費は、港湾管理特別会計の補正に伴います繰出金の増額補正でございます。

5 項都市計画費、2 目都市下水路費は、都市下水路維持管理事業費及び排水機場維持管理事業費で、設計委託料などの減額補正を、また国の補正予算によります耐震診断業務委託など委託料の増額補正を行っております。

3 目公園費は、設計委託料の減額補正でございます。

8 0 ページ、8 1 ページをお願いいたします。

6 項住宅費、1 目住宅総務費は、実績見込みによります木造住宅耐震診断業務委託料及び危険家屋除却補助金の減額補正で、2 目住宅管理費は、耐震診断業務委託料の減額補正でございます。

3 目住宅建設費は、西の浜新住宅改修工事などの入札残によります工事請負費の減額補正で 4 目営繕費は、実績見込みによります建築物定期調査業務委託料の減額補正でございます。

9 款、1 項消防費、1 目常備消防費は、大型化学高所放水車購入費の入札残の減額補正でございます。

8 2 ページ、8 3 ページをお願いします。

1 0 款教育費、1 項教育総務費、3 目教育振興費は、スクールバス購入費の入札残の減額補正でございます。

3 項中学校費、1 目学校管理費は、中学校管理運営事業費で、臨時講師の賃金及び共済費などの減額補正を、中学校施設管理事業費及び中学校施設整備事業費で、入札残によります工事請負費の減額補正を行っております。

このページ下段から 8 4 ページ、8 5 ページをお願いいたします。

4 項社会教育費、1 目社会教育総務費は、児童厚生員報酬の減額補正で、3 目公民館費では、鷺部公民館空調設備更新工事費の執行残によります減額補正でございます。

5 項保健体育費、2 目社会施設費は、スポーツ施設の光熱水費及び工事請負費の減額補正でございます。

このページ下段から 8 6 ページ、8 7 ページをお願いいたします。

3目学校給食費は、実績見込みによります臨時調理員の賃金、共済費及び賄材料費の減額補正でございます。

13款諸支出金、1項基金費、1目財政調整基金費は、前年度の決算剰余金の2分の1、1億8,203万4,000円を財政調整基金へ積み立てるものでございます。

この結果、財政調整基金の年度末残高見込みは、55億3,818万円となり、減債基金と合わせました財政調整的な基金は、64億8,071万円となる見込みでございます。

2目減債基金費、4目地域福祉基金費、10目ふるさと市町村圏振興基金費及び16目地域振興基金費は、それぞれ基金利子の増加による積立金の増額補正でございます。

17目ふるさと応援基金費は、ふるさと寄附金の収入見込みによります増額補正でございます。

88ページ、89ページをお願いいたします。

21目公共施設整備基金費は、漁港施設維持管理基金、港湾施設維持管理基金を廃止し、公共施設整備基金へ統合することに伴います積立金の増額補正でございます。

2項、1目公営企業費は、下水道事業会計の補正に伴います繰出金の減額補正でございます。

予算書6ページにお戻りください。

第2表 繰越明許費でございます。

翌年度にまたがる事業、6事業で繰り越しをお願いしております。

続きまして7ページをお願いいたします。

第3表 債務負担行為補正でございます。

追加といたしまして特定建築物管理等業務委託の1件をお願いしております。

変更といたしまして魅力ある宿泊観光関連施設整備事業補助金の1件をお願いしております。

続きまして8ページをお願いいたします。

第4表 地方債補正でございます。

変更といたしまして公営住宅建設事業債、一般単独事業債の合併特例債で、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業、子育て支援センター整備事業、中学校施設整備事業、社会教育施設整備事業を、過疎対策事業債で、ごみ運搬車整備事業、下水道整備事業、消防車両整備事業、スクールバス購入事業、過疎地域自立支援特別事業（定住促進奨学金返還支援事業）をそれぞれ、そして臨時財政対策債、合計の12件をお願いしております。

なお90ページ、91ページに先ほど言いました給与費明細書、92ページに債務負担行為の歳出予定額等に関する調書、93ページに地方債現在高の見込みに関する調書をお示ししております。

以上で歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億7,868万9,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ158億393万8,000円といたします一般会計補正予算(第6号)の説明を終わります。

以上でございます。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

13番 胡子議員。

○13番（胡子雅信君） すみません。事項別明細書で何点か確認も含めた質問をさせていただきます。

まず事項別明細書の36ページの固定資産税および軽自動車税が減額になっておりますけれども、これはどういった理由なのかというところを教えてくださいと思います。

それとあと39ページ、国有提供施設等所在市町村助成交付金、いわゆる基地交付金であると思うんですけれども、1,663万3,000円の減額がどういう理由なのかということですね。それとあと地方交付税なんですけれども、交付税の確定ということで3,309万7,000円の減額ということで、今、合併しましてもう10年超えたいわゆる合併特例加算というものが、どんどん縮減されていくわけなんですけれども、来年度も今予算案の中で見込みとして出されておりますけれども、減額になったところでどういうふうな分析をし、また来年度予算に反映させていく、減額の部分をどれだけ見積もってされているのかなというところをちょっと気になるところです。

それと同じく39ページには、保育施設保育料等保護者負担金が470万という減額ということなんです、これがどういうふうな当初の予定からこういうふうな470万という金額の減額になったのかなというところでもあります。

あと47ページは、ふるさと寄附金は、1,400万の増額ということで、江田島市としてはかなりありがたいところではありますが、一方これは事項別明細書の55ページにいわゆるふるさと寄附金していただいた方への返礼品ということで、ふるさと納税特産費が900万円の増額になっております。入ったものが1,400万、出ていくものが900万ということではありますが、これがいわゆる総務省が返礼品の調達価格、寄附額の3割以下に抑えることという方針・指針を示された中で、江田島市としましては、1万円以上の寄附者に対してかつて平成26年当時は5,000円程度ということで、カタログをつくっていただいたということがあります。ふるさと納税の寄附額の3割以下に返礼品の調達価格を抑えてほしいという総務省、これは義務ではないんですが、そういった方針が出された中で江田島市としては、どういうふうな返礼品をお考えであるのか、そこをあわせて示していただければなというふうに思います。

それとあとは、先ほど51ページの臨時財政対策債の中で、減額理由としては、1億2,090万ですけれども、限度額を超えたというのは総務部長のお話、説明だったと思うんですけれども、具体的にちょっと教えていただければなというふうに思います。

それと事項別明細書の57ページですけれども、こちらのほうの生活航路維持対策事業債のところ、こちらのほうがいろいろと維持管理費の補助金であるとか、あとは航路対策事業の補助金であるとか、魅力アップの事業補助金というものが削減されておりますけれども、何かの理由があつてこういうことになっていると思いますけれども、そこら辺のところを具体的に教えていただければなというふうに思います。

それと同じく57ページの定住促進奨学金返還支援事業費、これは恐らく実績見込みということで、当初見込まれたものよりか単に申込者が多いということでもあります。こ

ういったところの部分が来年度にも絡めてどのように、これ3年、多分実証実験じゃないかなと思うんですけども、ここら辺が今、奨学金の返還支援が多分もともと当初見込まれた部分で、かなり反響があって利用者が多くなっているというふうに考えておりますけども、実際その江田島市に住まわれてもしくは住もうとしている方々の指標になってくると思うので、現在見込みでこの300万増の補正を組まれておりますけども、どういうふうな肌感覚というんですか、そういうふうなお問い合わせ状況を含めて、どういうふうに今この事業は展開しているのかちょっと教えていただければなというふうに思います。

それとあと同じく57ページですけども、交流促進費の中のまちづくり推進事業、ここがコミュニティ助成事業とか、まちづくり団体支援補助金とかいうもので、やはりこれも実績見込みということなんですけども、当初予定したものより申し込みが少なかったということなんですけども、そこら辺のところでは何か減額の理由等々があればその他に、教えていただければというふうに思います。

それとあと地域おこし協力隊の隊員の報酬なんですけども、恐らく私も詳しく調べられてないんですけども、当初募集した予定のものが応募者がいなくてこれを減額したんじゃないかなという私の思いなんですけども、そこら辺わかりましたら教えてください。

それとあとは、59ページの支所費なんですけども、江田島支所、能美支所、沖美支所のこの中で光熱水費がそれぞれ300万円近いもので減額になっておりますけども、これは当初予定したものとかかなり開きが、余りに大きな数字の減額なものですから特定の理由があるのであれば教えていただきたいなと思います。これは61ページの集会所等管理運営事業費の江田島地区の280万もそうなんですけども、光熱水費がかなり減額になっておりますので、この点もあわせて教えてください。

それとあとは、同じく61ページの選挙費でございます。市議会議員選挙費と衆議院議員選挙費の部分で職員さん、恐らく選挙の中でいろいろ休日とか出られてるところの人員費部分であると思うんですけども、ちょっとなんかかなり見込みと大きく安く挙がったというんでしょうか、減額になっているので、ここら辺のところをどういうふうにこれだけの減額理由になったのかなというところを教えていただければと思います。

それとこれは68ページの児童福祉費が軒並み減額となっておりますけども、これがどういうふうな理由なのかなというところもあわせて教えてください。

事項別明細書71ページなんですけども、保健衛生総務費のところでは健康江田島21計画策定委託料というもので、437万9,000円減額となっておりますが、これはもう計画の委託料で実際より安くあがったから減額になったのか、この計画策定というものを委託できなかったのか、ちょっとよくわからないのでそこを教えてください。

それとあとは、73ページの塵芥処理費の部分で、家庭一般廃棄物収集運搬事業費が4,918万1,000円の減額ということで、中身が先ほどの説明じゃ見えてこなかったものですから詳しい説明を教えていただければと思います。

それと農林水産のことですけども、78ページに新規就農者支援対策事業費補助金650万円の減と75ページ新規漁業就業者支援事業補助金が250万、それぞれ減額に

なっております。今、江田島市もこういった農水産の中で、いわゆる後継者づくりということで力を入れて、こういった補助金メニューをつくっていただいていると思うんですけども、ここら辺が実際予定をしていたメニューに応募者がいなかったのか、予定よりか少なかったのかというところであると思うんですけども、今現状そういった現場の声の中でどういうふうに関後新規就農であるとか漁業者、いわゆる後継者不足に悩む江田島市でございますので、予算つけたけれどもちょっと募集がなかった、もしくは少なかったとなると今後また見直していかなくちゃいけないのかなというところがあるので、そこら辺の現状を教えていただければというふうに思います。

以上をちょっと多数でありましたが、よろしく申し上げます。

○議長（林 久光君） 山井市民生活部長。

○市民生活部長（山井法男君） まず、歳入のところであります。市税で固定資産税と軽自動車税を減額いたしております。市税については、ほかの科目もありますけれども、前年の段階で新年度どれぐらいになりそうかというのを試算いたします。それまでの何年間かの変化率あるいは収納率等を勘案して計上するわけですけれども、特に固定資産税につきましては、皆さん御承知のとおり土地について路線価が毎年下がっています。何年か前には、毎年8%台で下落するということもありまして、今5%台ぐらいに落ちついてますけれども、そこら辺のところでの精査しますと、これぐらい減額したところで今年度の収入見込みが11億3,000万程度になるということから減額させていただきます。軽自動車税につきましても、こちらも細かく言うと難しくなってくるんですけども、最近はまだエコカー減税等もありまして、なかなか皆さん何台を新車にされて、何台を継続されるかという見込みは難しいわけですけれども、そこを精査しますと今年度は、当初7,900万を計上いたしておりましたけれども、300万円ほど減額になるという見込みでございます。

続きまして私の関係でいいますと、事項別明細の59ページで、支所費についての御質問がございました。江田島支所と能美支所について大きな減額をしております光熱水費でございます。江田島支所につきましては、こちら建物改修しまして、それ以前にかかっていた費用で計上したんですけれども、特に電気代等がLED化しまして大分安くあがったという見込みでございます。それから能美支所につきましても同様に今年度今、改修工事を行ってまして、もと呉信用金庫のほう借りてますけれども、予算計上時点ではどのようになるかというのがはっきりしない状況の中で予算計上しまして最終的には呉信用金庫さんの廃店舗を借りたわけですけれども、その関係で減額させていただきます。

続いて1枚めくっていただきまして60、61ページの集会所費で280万減額、江田島地区の集会所費減額いたしております。これは、江南ふれあいセンターが支所費の中での計上になっておりますけれども、当初子育て支援センターが戻って集会所として管理するという予定でしたけれども、あと1年なので引き続き子育て支援センターがふれあいセンターで事務を行うということで、そちらのほうでの予算消化となりましたので、これは丸々浮いてきたということでございます。

続きまして事項別明細の72、73ページ塵芥処理費でございます。一番上になりま

す。家庭一般廃棄物収集運搬事業費で約5,000万近い減額で目立つわけですが、上から順番に細かく説明しますと、一番目の消耗品費です。これは指定ごみ袋です。指定ごみ袋が2,200万計上していたところが、1,200万ぐらいで済んだというところなんですけれども、指定ごみ袋は中国で生産してまして石油の市況とかあとは中国での人件費によって年間の変動が大きいです。一番安い年は1,000万ちょいで、今回も安いほうの部類に入るんですけれども、石油が高かったころには、1,800万程度かかっていた年もありました。その市況が見えないものですから、ある程度の高目で過去何年か見てこれぐらいだろうということで、計上するわけですが、それに対して安く挙げたということで減額させていただいております。

続いて委託料が1,000万減額、これはごみを呉市のクリーンセンターくれのほうで焼却していますけれども、今年度若干ごみの量が少ない見込みでこれぐらい減額で済むであろうというふうに見込んでおります。

続いてごみ収集運搬業務委託料2,300万減額です。これは、3カ年の委託契約をするわけですが、これが29、30、31年の3カ年です。昨年の入札の段階では、設計金額で計上しておりました。入札によって下がりましたので、単年度で7,600万ぐらいかかるところが、5,300万ぐらいで入札が落ちたということで2,300万減額をいたしております。

それから循環型社会形成推進地域計画策定業務委託料400万、これ減額ですが、最終処分場の設計に入ろうと思っていたわけですが、よくよく精査して再計算してみると18年程度はもつということで、今設計しても無駄になるということで、しばらく様子を見ようということで延期をさせていただいております。

それから最後に備品購入費の関係ですが、これは粗大ごみ運搬用の2トンダンプが入札残で180万ほど出ました。

私からは以上でございます。

○議長（林 久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） それでは民生費の関係で、説明させていただきます。

まず歳入のほうから予算書38ページ、39ページにございます保育施設保育料等保護者負担金の現年分の減額についてでございます。これは、保育施設の保育料は前年度予算編成時期が11月でございますが、実際に次年度保育園に申し込みをしていただくのは、12月から2月にかけて申し込みをしていただきますので、29年度で申しますと、28年度実績で見込ませていただいて、保護者負担金を予算計上させていただきますが、29年度当初の入園者または29年度途中の途中入園者が当初の見込みを下回ったため、このような形で減額をさせていただいております。

続いて民生費68、69ページで児童福祉費の減額がかなりあるんだがこの理由はということでございます。人件費部分を除いて説明をさせていただきます。まず保育施設管理事業運営費の中で臨時保育士の賃金で大きく減額をさせていただいておりますが、こちらについては、最大限保育環境を整えるという意味で年度当初には多目の人件費を確保させていただいておりますが、年度途中入園などが見込みを下回ったことと臨時保育士の登録が少なかったことなどの現状から減額をさせていただいております。

続いて水道開発負担金の減額でございます。こちらは、認定こども園えたじまの新設に伴いまして新設のための水道開発負担金を予算計上させていただいておりましたが、本市が所有する権利のあるメータがほかにございましたので、その移設を行ったということで、ここで節約をさせていただいて開発負担金が不用となっております。

続いて子育て支援センター運営事業の設計委託料の減額については、来年度建設を予定しております子育て支援センターの設計についての入札の執行残でございます。

最後に母子・父子家庭等対策総合支援事業の減額につきましては、最下段にございます高等技能訓練促進費給付金、これは一人親家庭の方が新たに就職を志すときに高等技能訓練を支援するというものでございますが、年度当初には、4人の方の利用を見込んで予算をいただいておりますが、実績では2人の方の利用にとどまったということで、このような形で減額をさせていただいております。

次の衛生費で御質問をいただきました70、71ページの健康江田島21計画の策定委託料でございます。この健康江田島21計画については、既に策定作業をほぼ完了しておりますけれども、年度当初には予算編成時には、この健康江田島21計画の中に自殺対策計画もあわせて策定するというので予定をしておりましたが、この自殺対策計画については、来年度予算計上させていただいております地域福祉計画、この中に自殺対策計画を含んだ形で地域福祉計画を策定する予定にしておりますので、業務量が減りましたことと入札による執行残でございます。

以上でございます。

○議長（林 久光君） 長原産業部長。

○産業部長（長原和哉君） 続いて農林水産業費の関係で、後継者育成について質問がありましたのでお答えさせていただきます。市のほうとしては、後継者育成、農業、水産業ともに後継者育成に努めております。その関係で現在農業では、研修生を含めて6人の方、漁業に関しては3人の方が研修及び新たに就業されております。今回農業でいいましたら650万の減となっておりますけれども、これは研修もありますけれども、研修後いかに円滑に就業するかというところの補助制度をつくっております。その関係で650万につきましては、新築のハウスそれを建てる予定の方が2名いらっしゃいましたけれども、1名になったということに伴う減額になっております。そして水産業に関しても円滑に漁業に入るふうにはしておりましたけれども、これは漁船購入を目的としておりました。なかなか漁船が見つからないということで、今回の場合漁船部分を減額したということでございます。

以上です。

○議長（林 久光君） 仁城総務部長。

○総務部長（仁城靖雄君） それでは歳入の部分から総務部関係で、普通交付税ということがございました。今回は、加算額が縮減をしていくという中でございます。平成29年度では、半分の0.5ということございまして、平成30年度には0.3、そして0.1でなくなっていくということになります。当然ながらこれは、財政計画等でもお示ししておりますように毎年毎年そういった財政計画をローディングする中で、財源をどうするかというようなことは、やはりもっと検討していかなくちゃいけないとい

う問題だと思っております。

そしてふるさと納税の件でございます。本市のふるさと納税、今回たくさん寄附をいただけて本当にありがたいお話なんですけども、議員御指摘のとおり、じゃ何割の返礼品を送っとるのかということでございます。現時点では、国の基準というか国から示された3割というところをやはりちょっと超えておりまして、市では4割程度ということに今はなっておるところでございます。もちろん3割台のものもありますし、若干それよりもふえとる場合もありますが、おおむね4割ということでございます。この件につきましては、やはり総務部の中でその3割という国の指導等もありますので、そういった形でできればというふうには思っております。これはまた検討していきたいというふうに思っております。

そして臨時財政対策債の件でございます。50ページでございます。先ほど説明の中では、発行可能額の確定に伴うという言い方をさせていただきましたけれども、これはあくまでも地方交付税を補完するものではございますけれども、いわゆる借り入れという形になりますので、このような発行可能額という言葉にさせていただきました。これは、国からいわゆる確定値が出るものですからその確定値をもとに今回の補正をさせていただいたというところでございます。

そして60ページの選挙費というところでございます。今回金額は少なくなったわけなんですけども、それは従事する職員数というのは、ほぼほぼ当初予定をしておったそのままでございますが、例えば当初予定はやっぱり平均的な職員の給与額、時間外手当等をもとにして計算をしております。このたびはなるべく若い職員の方にもたくさん出ていただけたというような中からその分のいわゆる単価が安くなったところがありますので、そういったところでの減額となっているところがございます。

以上でございます。

○議長（林 久光君） 渡辺企画部長。

○企画部長（渡辺高久君） まず39ページの歳入の国有提供施設等所在市町村助成交付金のことでございますが、これは国のほうが算定して額が確定したのですが、この算定基礎になっておるのは、固定資産税額と思っておりますので、その推測にはなりますが、土地の価格が下落しているということで減額になっておると思っております。

57ページの生活交通維持対策事業費ですが、生活交通路線維持事業費補助金、これはバスのほうですが、減額の理由といたしましては、車両や機器等の修繕費が見込みより安くなっていたということでございます。

次の生活航路対策事業補助金でございます。これは船のほうですが、申請時に燃料費が上がるのを見越して高目に来ております。それと収益減も高目に見積もってきたということで実績によって減額になったということでございます。

交通魅力アップ事業補助金でございますが、これは申請してきた案件が当初見込みより少なかったということで減額となっております。

次の定住促進奨学金返還支援事業補助金でございます。これは、当初見込みでは市の奨学金をベースに61人としておりましたが、市の奨学金以外の奨学金を使っておられる方がかなりおられ、見込みとしては103人となっておりますので、増額になったと

いうこととございます。

次のコミュニティ助成事業補助金でございます。これは、当初要求段階では5団体を要求しておりましたが、採択となったものが2団体であったということで、採択されなかったものについて減額しているということでございます。

それからまちづくり団体支援補助金でございますが、まちづくり協議会の設立が、かなり遅れたということで、事業実施が全てできてなくて、事業をやっていないと補助金が出ない事業でございますので、減額となったということでございます。

次の地域おこし協力隊の事業費の関係でございますが、当初議員もおっしゃったように予定していたより1人減から、当初採用試験の段階で3名でありましたが、1名しか基準に達していなかったということで、2名のところは該当なしで、そのうちの1人のほうはもう再募集しないということで、1人は再募集をかけて中途からの採用となったためにトータルで16カ月分の減ということで、今のこの金額の減額となっております。

以上です。

○議長（林 久光君） 13番 胡子議員。

○13番（胡子雅信君） すみません。いろいろとありがとうございます。1つだけ教えてくださいということなんですけども、先ほど企画部の管轄になると思いますけども、国有提供施設等、いわゆる基地交付金、恐らく地価が下落してるんで、それが反映されたということなんですけれども、ちなみにこれ2億円を切ったという今回初めてになるんですかね。そこら辺のところちょっと教えていただきたいなど。私の記憶の中では、ずっと大体2億円を昭和40年代からずっと基地交付金は2億って頭の中にあっただもんですから今回ちょっと2億円を切ってるんで、今回初めてなのかどうかというのがわかりましたら教えてください。

それとあと57ページのほうで定住促進奨学金返還支援事業費です。当初見込みの61名から市の奨学金以外で受給された方を含めた103人ということで、この事業というものがかなりそういった定住促進の一つの有力な施策に育っているのかなというふうには思っております。ただこれも本当に奨学金の最大20万円の年額だと思えるんですけども、そこら辺が本当に最終的に定住につながるようにまたそこら辺のところもモニタリングというんですか、そこら辺の何らかの形でできるようにしなければなというふうには思います。

以上です。

○議長（林 久光君） 渡辺企画部長。

○企画部長（渡辺高久君） 基地交付金の件ですが、初めてでございます。定住促進奨学金返還支援事業の件ですが、今回実証ということがありますので、交付決定を出す際にアンケート調査を実施して今集計中ということでございます。このアンケート調査等々勘案しながら実効力について検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（林 久光君） この際、暫時休憩いたします。

11時15分まで休憩いたしますのでよろしく申し上げます。

（休憩 11時03分）

(再開 11時15分)

○議長(林 久光君) 休憩前に引き続いて会議を開きます。

質疑をある方は、どうぞ挙手をお願いします。

2番 角増議員。

○2番(角増正裕君) すみません。28ページの先ほどちょっと議論があった基地対策費の減額の件なんですけれども、先ほど地価の下落が原因じゃないかというふうにおっしゃられたんですけれども、最近国のほうは国有地を返したあと物すごく払い下げしておられて、例えば去年は、鷺部の官舎を1棟分は壊して立て直す予定だったのを断念してもう1棟分の古いほうも含めて1,300坪以上の土地を払い下げておられます。ここ数年で見ると大原官舎の隣の今、太陽光発電の結構広いスペースを払い下げておられます。もう一つ僕が知っているのは、国立青年の家の官舎がある今セブンイレブンが江田島中央のところの隣のところにアパートが建っているところの青年の家の手前の空き地を払い下げておられます。それで土地の下落というだけじゃなくて、結構私が把握しているだけでも1,000坪、2,000坪の土地が減っていて、ほかにも払い下げた土地があるのかもしれないんで、面積の減少という要因もあるんじゃないかと思って、この辺はちょっと長年安定財源として当てにしているお金がこういうふう減っていくということは、地価の下落なのか面積の減少なのか、もうちょっと今わからないということだったんですけれども、調べといていただけたらと思います。

○議長(林 久光君) 渡辺企画部長。

○企画部長(渡辺高久君) この国有提供施設等所在市町村助成交付金の中身ですが、恐らく防衛施設のことを主になりますので、議員おっしゃるとおりその辺の要因も今後のこともございますので、国のほうが算定しておりますので、どこまで算定の部分をつまびらかにできるかというのは現在のところちょっとわかりませんが、そこは調査して行って次年度以降考えていくということで御了解いただきたいと思います。

以上です。

○議長(林 久光君) 2番 角増議員。

○2番(角増正裕君) どうもありがとうございます。本当に今ちょっと気になったのが、この額が減っていくというのは、ちょっと想定外なんだろうと思うんですね。それで、頭にぱっと浮かんだのが鷺部の官舎2棟分の底地を620万で払い下げられたんですけれど、それと大原の官舎の隣の土地もうんと安く払い下げちゃって、防衛関係に使ってた土地がそういうふう面積自体も減っているのかなということがちょっと気になったんで質問させていただきました。どうもありがとうございます。

○議長(林 久光君) ほかに。

渡辺企画部長。

○企画部長(渡辺高久君) すみません。今の私の説明がちょっと足らなかった部分がございますので、この国有提供施設等所在市町村助成交付金は、防衛施設等のものが対象でございます。財務省等が行う普通財産の処分は影響は出ませんので、一言申し上げます。申しわけございません。よろしくをお願いします。

○議長(林 久光君) 3番 重長議員。

○3番（重長英司君） 2点ほど質問させてください。

41ページ社会福祉費補助金の地域力強化推進事業の内容を具体的に教えていただきたいのと、73ページ一番下から2行目の日本型直接支払補助金、これはどういう補助金であるのかということをお教えください。よろしくお願いします。

○議長（林久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） 41ページで民生費国庫補助金にございます地域力強化推進事業補助金と申しますのは今般、社会福祉協議会のほうで商工会と協力して実施していただいております移動販売車の購入事業、これに対する補助でございます。

以上です。

○議長（林久光君） 長原産業部長。

○産業部長（長原和哉君） 日本型直接支払制度についてお話しします。日本型直接支払制度というのは、農地の荒廃防止のために中山間地域直接支払交付金というのと、多面的機能支払交付金という二つのパターンがあります。一つは、荒れた田とか畑を荒れちゃいけないということで、維持するということで直接補助金が所有者の方に入ります。それで多面的機能は、そういうくくりの農地の部分を水路等草刈りとかやることに対してその活動に対して補助金が出るという制度です。これはあくまでも農地農耕地が対象となっておりますので、対象地域は限定されてきます。

以上です。

○議長（林久光君） ほかに。

7番 酒永議員。

○7番（酒永光志君） 7ページの債務負担行為の補正で、追加分として特定建築物管理業務委託268万8,000円とあります。これの内容について教えていただきたいということと、もう1点当初予算で計上されとってこれが使われずに皆減となつてこのたび補正で全部落とされるという結構何カ所かあるわけですね。それについての理由をお聞かせ願いたいと思います。

57ページに公共施設再編整備基礎資料作成業務委託料、これが当初100万円組んでおつて、このたび100万円皆減となっております。

次に73ページの循環型社会形成推進地域計画策定業務については、先ほどの胡子議員の質問で回答されておりますのでこれは結構でございますが、77ページに道路新設改良費で、測量登記委託料というのが当初120万円で、これは120万円で全てなくなつております。その下に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費として設計委託料、当初159万円、このたび159万円の全て減額となっております。

79ページに都市計画業務委託料、当初110万円組んでありました。このたび全て減額となっております。

81ページに住宅管理費で市営住宅維持管理事業費、耐震診断業務委託料160万円当初ありましたが、これも皆減となっております。

85ページに公民館費、設計委託料で600万円当初組んでありました。このたび600万円の減額となっております。その下に文化財調査データ作成業務委託料、これは当初130万円、このたび130万円の全て落ちておるといふことで、総務部長の説明

では、一様にこれは減額となっておりますという説明だけでしたので、これをはっきりと理由等をお聞かせください。

そして87ページでございますが、これについては1つこの予算書に対する要望ということでお聞き願いたいわけですが、13款諸支出金の基金費で説明欄で例えば財政調整基金管理費として積立金という一句でまとめてあります。このまとめた案の例えば債権運用によって利子収入がこれだけありました、それで債権剰余金の処分でこれだけ新たに積み立てますというような内訳をわかるようにここへ示してもらえたら我々も債権運用にこれだけ努力されておるんだなというようなところが一目瞭然といいますか、わかってくるので、そういうようないわゆる書き方をさせていただきたいということでございます。

以上、よろしく申し上げます。

○議長（林 久光君） 仁城総務部長。

○総務部長（仁城靖雄君） 7ページの債務負担行為のところ、特定建築物管理等業務委託というのがございます。これにつきましては、市役所本庁舎の環境衛生管理とすることをしております。これは法で義務づけられておるものでございますけれども、例えば空気調和設備の保守点検であるとか、貯水槽の清掃であるとか、そういったものになるわけでございますけれども、それが事務所の場合は、3,000平米以上の建物について行うものとなっております。市役所本庁では、今までそういった業務をそれぞればらばらで業務委託をしておったわけでございますけれども、今回は一本化して入札に付したいというところでの今回の債務負担行為でございます。

そしてもう1点、最後にお話のありました87ページのところで表記のほう、基金の積立金の表記のところでございます。これにつきましては、ちょっと内部的な話になるんですけど、いわゆるコンピューターでの管理とか、そういうのもやっております、来年度予算につきましては、科目のつくり込みができておりましたすぐすぐ平成30年度の予算から反映することが難しいのですけれども議員御指摘のとおり、よくわかるようなことにしていきたいと思っておりますので31年度からは、そういった科目を分けましてよりよくわかるような形にしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（林 久光君） 渡辺企画部長。

○企画部長（渡辺高久君） 57ページの公共施設再編整備基礎資料作成業務委託でございます。皆減になっておりますのは、交流プラザ等再編する場合にいろんな地元説明するための資料が必要となるということで持っておりました。29年度につきましては、三高の交流プラザのものでございますが、港湾の待合所と合築ということで、そちらのほうで見ていただいたので、ここは発注していないということでございます。

以上です。

○議長（林 久光君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） それでは土木建築関係のほう御説明させていただきます。

まず77ページの道路改良事業費、測量登記委託料の120万円でございます。これ

は毎年度緊急的な道路拡幅があった場合に備えて用地測量費等を計上しておるものでございます。本年度につきましては、こうした対象箇所がございませんでしたので皆減とさせていただきます。

それから同じく77ページの特定防衛の関係で設計委託料159万円でございます。こちらのほうは同じく特定防衛交付金の事業の中で道路事業というのもございます。こちらのほうと総合的に勘案して道路事業を少し優先して事業進捗を図らなければならないということがございましたので、そちらのほうへの充当をさせていただきました。そのために河川に係る側溝ふたがけ設計というのを予定しておったんですけれども、これは来年度のほうへ延期ということにさせていただきました。

それから79ページの都市計画一般事業、こちらの都市計画業務委託料110万円でございます。こちらのほうは当初予定しておりましたのは、都市計画変更の図書作成業務でございます。これは消防庁舎が鷲部公園に建設地がそっちになった場合に都市計画変更が必要となってございます。そのために準備をしておった委託料なんですけれども、消防のほうの建設地が変更になりましたので、こちらの業務は不要になったということで皆減ということにさせていただきました。

続きまして81ページの市営住宅維持管理事業費の耐震診断業務委託料の160万円でございます。こちらのほうは市営住宅の耐震診断5住宅で9棟を予定しておったんですけれども、当初これを外部委託ということで考えておりましたけれども、過去の資料を精査して簡便法による診断結果、こういったものを再度精査を職員のほうで行いまして耐震性を確認することができたということで、この委託については取りやめるというふうにさせていただきました。そのための皆減でございます。

以上です。

○議長（林 久光君） 小栗教育次長。

○教育次長（小栗 賢君） それでは85ページのほうお願いいたします。公民館管理運営事業費の委託料でございます。設計委託に関しましては、大柿公民館、江田島公民館の耐震補強の委託を予定しておりましたが、大柿公民館、江田島公民館とも耐震だけをやっても寿命が延びるわけではない、それと市民センター化等々もございますので、今回は耐震のほうの設計は見送って新築もありかなということで、一考しようということで、今回は実施いたしませんでした。その下の文化財保存保護活用事業のデータ作成業務委託料でございます。これは市のGISに乗っけて文化財を乗せていこうというものでございましたが、今年がちょうどそのGISの更新時期と重なりました。当初予算を立てる段階では、年度内に間に合うだろうと思ったんですが、GISのほうの更新作業が多少おくれたために現地調査等の時間がなかったもので、今年度は見送って次年度に実施させていただこうと思います。

以上でございます。

○議長（林 久光君） ほかにございますか。

7番 酒永議員。

○7番（酒永光志君） 公民館の関係ですね、今の耐震補強を計画したけれども、基本的に延命策にはならないので、今後いわゆる市民センターの部分も含めて建てかえを

するということで、これは大柿市民センターについては新年度の当初予算で設計費が組まれておるんですかね。そういうように見たんですが、そこらを進める上でもやはり今の我々議会のほうにそこらあたりを今後とも丁寧に告示をいただけたらなと思っております。

文化財の調査データ作成業務なんですけれども、私は常々ですね、私は旧沖美町の出身なんですけれども、この江田島市は文化財の保護に対して少し私はおくれてるんじゃないかなというように感じております。例えばどこの市町村へ行っても、あの建物に行ったら昔の暮らしの状況が見えてくるとか、農機具等でも残っておる、漁具等でも残っておるといようなことがあるわけですが、残念ながら我が江田島市においては、そこらあたりが欠けておりますので、できるだけ年がたつに従ってそういうような古い文化財的なものがなくなってまいります。このたび三高で関西美人という酒造会社があったんですが、これが廃業されました。跡継ぎがないということからずっとほったらかしにされとったんが、このたびいつの間にか持ち主か、相続者の方かもわかりませんが、壊されて更地になりました。あの中には結構なそういうようなものが残っておったんじゃないかなというように気がして大変残念なことだろうと思っておりますので、やはり今の教育委員会、市としてもそこらあたりは十分早目に手を尽くしていただいて、取り組んでいただきたいと思っております。これはお願いでございます。

それと債務負担行為の補正で3, 000平米以上の建物を今まではばらばらに調査しておった、管理しておったんですけども、今後はそれをまとめてということがございました。このいわゆる対象の建物というのは、わかれば教えていただけますでしょうか。

よろしく申し上げます。

○議長（林 久光君） 仁城総務部長。

○総務部長（仁城靖雄君） 市役所本庁でございます。3, 000平米の事務所ということでございますので、その事務所では本庁以外は江田島市内にはございません。市の所有物ではございません。

以上でございます。

○議長（林 久光君） 7番 酒永議員。

○7番（酒永光志君） 先ほどの説明では、そういうあれを一本化するということがありました。もうそれは市役所本庁のみということですね。

○議長（林 久光君） 仁城総務部長。

○総務部長（仁城靖雄君） 議員おっしゃるとおりでございます。

以上でございます。

○議長（林 久光君） ほかに質疑はないでしょうか。

4番 岡野議員。

○4番（岡野数正君） 二、三お伺いいたします。

まず81ページをお開きください。上段になりますが、住宅政策事業費委託料100万、減額ですね。その下に木造住宅耐震診断委託料負担金補助及び交付金、その下が危険家屋除却補助金、全て減額になっております。この理由についてお聞かせいただきたいと思っております。

○議長（林 久光君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） こちらの住宅政策事業の委託料の減額でございます。

まず木造住宅耐震診断事業委託料ですけれども、こちらのほうは当初は10件ほどの耐震診断、こちらのほう予定しておりましたけれども、実績といたしまして4件という状況でございました。このための減額でございます。また危険家屋除却補助事業につきましては、こちらのほうは当初は15件を予定してございましたけれども、実績としては5件という状況でございました。このためにそれぞれ減額させていただいたというものでございます。

以上です。

○議長（林 久光君） 4番 岡野議員。

○4番（岡野数正君） この事業については、恐らく昨年度も実施され、そしてまた来年度事業の中にも組み込まれておるんだろうというふうに思うんですが、この事業そのものが、現実的には予算を幾ら組んでも半分以下、半分にも満たないというような現状が続いております。その理由について担当部局のほうで把握しておられることをお聞かせいただきたいと思います。

○議長（林 久光君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） こうした状況の減額が続くという理由でございます。

我々の思いといたしましては、まず木造住宅の耐震診断、こちらのほうでございますけれども、これは家屋が耐震性があるかないかといったものを業務委託して判断するということでございます。ただこれは耐震性がありますよ、ありませんよという判断しか行いません。ですので仮に耐震性がありませんということになりますと、その後の耐震改修工事というものにつなげていかないといけませんけれども、そこに対する補助、あるいは補助はあるんですけれども、その費用面での負担というような重い状況の中で、なかなかこういった診断事業に参画いただけないのではないかとこのように考えております。また危険家屋除却補助事業、こちらのほうも昨年度は補助要綱に4件拡大して10件ほど集まったんですけれども、今回5件ということで実績が下がってまいりました。こちらのほうも補助金が1件30万円程度と30万ほどになっておるんですけれども、一口に解体と言っても全体的には200万から300万程度はかかってしまうという状況が見受けられます。その中でどうしても補助以外のお金が非常に大きいということで、なかなか除却に踏み切っていただけない、そういった状況があるのではないかとこのように考えております。

以上です。

○議長（林 久光君） 4番 岡野議員。

○4番（岡野数正君） 今の部長の説明の中で、お気づきの点があるだろうと思うんですが、調査のところは補助出しますけれども、じゃ具体的に家を直すのは皆さんでやってくださいよということになると、やはりなかなか耐震化が進んでいかない、これが今の江田島市の現状ではないかというふうに考えるわけです。そこでこの事業についての見直しというのをできることなら少しお願いしたいというふうに思っています。というのは、非常に耐震補強していくということになりますと、多額の費用がかかってまいり

ます。特に高齢者の皆さんにとっては、そんな金はもう出せんよというのが現状ではないかというふうに思うわけです。そこでそうした思いの中で、じゃ少しでも経費が安くなる方向で大災害のときに命を守ることができる方法はないだろうかといった視点を持って事業の見直しというのをさせていただければというふうに思います。減額補正ですから特に大きな問題はないんですけれども、減額を毎年恐らく可能性としては来年もこのまま事業の見直しをしなければ同じようなことが続いていくだろうと。また減額しますよということになります。じゃ実際に大災害が起きたときにこの市内の市民を守ることができるかという、そこに対しては余りプラスされては行ってないというようなことが想定できますので、来年度事業、恐らく引き続き行われますが、その内容についても少し御検討いただいてより実りあるものにしていただければということをお願いいたします。

答弁については必要ありません。

○議長（林 久光君） ほかに。

2番 角増議員。

○2番（角増正裕君） 先ほど基地対策の交付金の件で、財務省が払い下げのことは関係ないという御回答だったんですけれども、私は防衛省から財務局に移管をして払い下げているという流れを考えると今回、今江田島市で払い下げられてる土地はもともとは防衛省の管轄だった土地じゃないかという思いもあるので、関係あるんじゃないかと思っておりますので、そういう御回答だったのでちょっと一言申し上げたいなと思って。

○議長（林 久光君） ちょっと休憩をいたします。

（休憩 11時42分）

（再開 11時42分）

○議長（林 久光君） 休憩を解いて会議に戻ります。

ほかにございませんか。

1番 長坂議員。

○1番（長坂実子君） 65ページの障害者地域生活支援事業費、これの見込みからの減額の理由を教えてくださいのと、あともう1点83ページの一番下にございます放課後児童健全育成事業費、これの見込みからの減額の理由を教えてください。

○議長（林 久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） 65ページに掲載しております障害者地域生活支援事業の委託料の減額理由でございますが、この障害者生活支援事業と申しますのは、障害者の皆さんが生活にお困りのときに相談事業所を本市で設けておりますが、その相談事業所の職員体制の中でその事業所の人事異動の関係で、当初は3名の体制を予定しておりましたものが2名体制で相談を受けていただくということになりましたので、その人件費部分について減額をさせていただいております。この相談事業所につきましては、社会福祉法人の江能さんと市の社会福祉協議会さん、この2事業所についてそれぞれ2名の計4名での相談体制をとっていただいております。

以上です。

○議長（林 久光君） 小栗教育次長。

○教育次長（小栗 賢君） 83ページの放課後児童健全事業の児童支援員の報酬の減額でございますが、これはもう単純に支援員を募集したんですが、不足したということでの減額でございます。

以上です。

○議長（林 久光君） ほかにはございませんか。

以上で質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第26号

○議長（林 久光君） 日程第2、議案第26号 平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第26号 平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）でございます。

平成29年度江田島市の国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億8,258万円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ45億7,512万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長から説明をいたします。よろしく願いいたします。

○議長（林 久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） これより説明させていただきます議案第26号、第27号、第28号及び第29号の福祉保健部が所管いたします特別会計事業につきましては、市民の皆さんの医療・介護を賄う保険事業の特別会計でございます。2月定例会

で上程させていただきます補正予算につきましては、この医療・介護につきまして給付費の実績見込みによるもの、または国・県などで負担していただきます交付額の確定による補正でございます。

それでは議案第26号 平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について説明いたします。

このたびの補正予算は、さきに説明いたしましたとおり決算の見込みや交付額の確定によります高額医療費共同事業などの減額や出産育児一時金などの増額をお願いするものでございます。

まず歳入から説明をさせていただきます。事項別明細書の98、99ページをお開きください。

1款、1項国民健康保険税、1目一般被保険者国民健康保険税及び同款、同項、2目、退職被保険者等国民健康保険税の減額補正でございます。

3款国庫支出金、1項国庫負担金、2目高額医療費共同事業負担金の減額補正です。

100ページ、101ページをお開きください。

4款県支出金、1項県負担金、1目高額医療費共同事業負担金の減額補正です。

5款、1項、1目療養給付費等交付金の減額補正です。

7款、1項共同事業交付金、1目高額医療費共同事業交付金及び同款、同項、2目保険財政共同安定化事業交付金の減額補正です。

9款繰入金、1項、1目一般会計繰入金、2節職員給与費等繰入金は減額補正。

同款、同項、同日、3節出産育児一時金及び102、103ページをお開きください。

同款、同項、同日、4節財政安定化支援事業繰入金は、増額補正です。

9款繰入金、2項基金繰入金、1目国民健康保険基金繰入金は、増額補正です。

11款諸収入、3項雑入、2目一般被保険者第三者納付金の増額補正です。

続きまして歳出でございます。104、105ページをお開きください。

今回歳出補正予算は、保険給付費の財源更正や支援金などの確定、事務事業の執行見込みに伴う不用額の減額補正及び出産育児一時金などの増額補正をお願いしております。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、18節備品購入費の減額補正です。

2款保険給付費、1項療養諸費、1目一般被保険者療養給付費の財源更正です。

同款、同項、2目退職被保険者等療養給付費の減額補正です。

同款、2項高額療養費、1目一般被保険者高額療養費の減額補正です。

106、107ページをお開きください。

同款、同項、2目退職被保険者等高額療養費の減額補正です。

2款保険給付費、4項出産育児諸費、1目出産一時金の増額補正です。

2款保険給付費、5項葬祭諸費、1目葬祭費の減額補正です。

3款、1項後期高齢者支援金等、1目後期高齢者支援金の減額補正です。

108ページ、109ページをお開きください。

7款、1項共同事業拠出金、1目高額医療費共同事業拠出金及び同款、同項、2目保険財政共同安定化事業拠出金の減額補正です。

8款保険事業費、1項、1目特定健康診査等事業費、13節委託料の減額補正です。

同款、2項、1目保健事業費、13節役務費の増額補正です。

110ページ、111ページをお開きください。

11款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、3目償還金の増額補正です。

以上で歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億8,258万円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ45億7,512万9,000円とする平成29年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第3 議案第27号

○議長（林 久光君） 日程第3、議案第27号 平成29年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第27号 平成29年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）でございます。

平成29年度江田島市の後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,675万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ4億5,975万2,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長から説明いたします。

よろしくお願いたします。

○議長（林 久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） 議案第27号 平成29年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について説明いたします。

歳入から説明をさせていただきます。事項別明細書の116、117ページをお開きください。

今回の歳入の補正予算につきましては、広島県と県内市町で構成いたします広島県後期高齢者医療広域連合からの確定額通知などに伴います決算の見込みによるものでございます。

1款、1項後期高齢者医療保険料、1目特別徴収保険料、1節現年分及び同款、同項、2目普通徴収保険料、1節現年分の増額補正です。

4款繰入金、1項一般会計繰入金、2目保険基盤安定繰入金の減額補正です。

5款、1項、1目繰越金は、前年度繰越金の増額補正です。

続いて歳出でございます。118、119ページをお開きください。

今回の歳出補正予算は、納付金などの決算見込みによる増額補正を計上いたしております。

2款、1項、1目後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正です。

4款、1項、1目予備費の増額補正です。

以上で歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,675万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ4億5,975万2,000円とする平成29年度江田島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

ありがとうございます。起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

この際、暫時休憩いたします。

13時00分まで休憩いたします。

（休憩 11時59分）

（再開 13時00分）

○議長（林 久光君） 休憩前に引き続き、会議を開催いたします。

日程第4 議案第28号

○議長（林 久光君） 日程第4、議案第28号 平成29年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました議案第28号 平成29年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）でございます。

平成29年度江田島市の介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億3,151万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ36億1,612万9,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長から説明いたします。

よろしく願いいたします。

○議長（林 久光君） 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長（山本修司君） 議案第28号 平成29年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）について説明いたします。

介護保険事業では、議員の皆さん御承知のとおり国・県・市による負担金と被保険者の皆さんからお集めする保険料で、約5割ずつを負担して被保険者の皆さんが、介護サービスを受けていただいた給付費について事業運営をしておるものでございます。

今2月定例会に上程させていただきます補正予算は、年度末に当たり決算見込みによる特別徴収保険料の増額や給付の実績見込み減による介護給付費負担金及び地域支援事業交付金の減額補正をお願いするものでございます。

事項別明細書の124、125ページをお開きください。

1款保険料、1項介護保険料、1目第1号被保険者特別徴収保険料の現年度分特別徴収保険料の増額補正です。

3款国庫支出金、1項国庫負担金、1目介護給付費負担金現年度分の減額補正です。

3款、2項国庫補助金、1目財政調整交付金、現年度分と、同款、同項、2目地域支援事業交付金、介護予防日常生活支援総合事業の現年度分と、それぞれ減額補正です。

4款、1項支払基金交付金、1目介護給付費交付金は、現年度分と同款、同項、2目地域支援事業支援交付金、現年度分がそれぞれ減額補正です。

126、127ページをお開きください。

5款県支出金、1項県負担金、1目介護給付費負担金、現年度分の減額補正です。

5 款県支出金、3 項県補助金、1 目地域支援事業交付金、介護予防日常生活支援総合事業現年度分の減額補正です。

7 款繰入金、1 項一般会計繰入金、1 目介護給付費繰入金現年度分と、同款、同項、2 目地域支援事業繰入金、介護予防日常生活支援総合事業現年度分、同款、同項、5 目その他一般会計繰入金、事務費繰入金が、それぞれ減額補正です。

続いて歳出でございます。128、129 ページをお願いいたします。

今回の歳出補正予算の主な理由は、介護サービス、介護予防サービス及び介護予防事業の実績見込みによります保険給付費などの減額や、給付費の減額に伴います決算余剰金による介護給付費準備基金積立金の増額補正をお願いしております。

歳出でございます。

1 款総務費、3 項介護認定審査会費、1 目介護認定費の一般事務嘱託員報酬及び介護認定に伴う主治医意見書作成に係る手数料の減額補正です。

2 款保険給付費、1 項介護サービス等諸費、1 目居宅介護サービス給付費、同款、同項、3 目地域密着型介護サービス給付費、同款、同項、5 目施設介護サービス給付費、130、131 ページをお開きください。同款、同項、8 目居宅介護住宅改修費がそれぞれ19 節負担金補助及び交付金の減額補正です。

2 款保険給付費、2 項介護予防サービス等諸費、1 目介護予防サービス給付費、同款、同項、7 目介護予防サービス計画給付費が、それぞれ19 節負担金補助及び交付金の減額補正です。

132、133 ページをお開きください。

2 款保険給付費、6 項特定入所者介護サービス等費、1 目特定入所者介護サービス費の実績見込みによる減額補正です。

4 款、1 項基金積立金、1 目介護給付費準備基金積立金は、積立金の増額補正です。

5 款地域支援事業費、2 項介護予防生活支援サービス事業費、1 目介護予防生活サービス事業費の訪問型サービス、通所型サービス事業費ともに実績見込みによる減額補正です。

134、135 ページをお開きください。

5 款地域支援事業費、3 項一般介護予防事業費、1 目一般介護予防事業費は、介護予防支援員の欠員による減額と一般介護予防事業委託料の減額補正です。

最後に136 ページをお開きください。

給与費明細書を添付いたしております。

以上で、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1 億3,151 万5,000 円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3 億1,612 万9,000 円とする平成29 年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3 号）の説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いません。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第29号

○議長(林久光君) 日程第5、議案第29号 平成29年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま上程されました議案第29号 平成29年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)でございます。

平成29年度江田島市の介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ41万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1,108万3,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、福祉保健部長から説明いたします。

よろしく願いいたします。

○議長(林久光君) 山本福祉保健部長。

○福祉保健部長(山本修司君) 議案第29号 平成29年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について説明いたします。

まず、歳入から説明させていただきます。事項別明細書の140、141ページをお開きください。

今回の歳入補正予算は、介護予防給付費の計画作成件数が見込みより減ったため、介護予防計画費収入を減額し、実績見込み清算のため基金繰入金を増額補正するものでございます。

1款サービス収入、1項、1目介護予防給付費収入、1節介護予防サービス計画費収入の減額補正です。

3 款繰入金、2 項基金繰入金、1 目介護予防支援事業運営基金繰入金の増額補正です。続いて歳出でございます。142、143 ページをお願いいたします。

今回の歳出補正予算の内容は、職員の人事異動に伴いまして嘱託介護支援専門員の計画作成件数が当初見込みより増加したことによります増額補正と介護予防サービス計画作成の事業所による受託件数が当初見込みより減少したことによる減額補正をお願いしております。

1 款事業費、1 項1 目介護予防支援事業費、1 節報酬の増額補正です。同款、同項、同日、1 3 節委託料の減額補正でございます。

最後に144 ページをお開きください。

給与費明細書を添付いたしております。

以上で歳入歳出予算の総額に、歳入歳出にそれぞれ41万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1,108万3,000円とする、平成29年度江田島市介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）の説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数でございます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第30号

○議長（林 久光君） 日程第6、議案第30号 平成29年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま、上程されました議案第30号 平成29年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）でございます。

平成29年度江田島市の港湾管理特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところ

による。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ120万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4,520万円とする。

第2項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、土木建築部長から説明をいたします。

よろしくお願ひいたします。

○議長（林 久光君） 木村土木建築部長。

○土木建築部長（木村成弘君） それでは議案第30号 平成29年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）につきまして、歳入歳出補正予算事項別明細書により御説明いたします。

事項別明細書の148、149ページをお願いいたします。

歳入につきましては、2款繰入金1項1目一般会計繰入金におきまして、歳出の増額補正にあわせ、一般会計繰入金120万円を増額補正するものでございます。

150、151ページをお願いいたします。

歳出につきましては、1款1項1目港湾管理費におきまして、電気料金や水道料金を支払う光熱水費の予算が不足する見込みであることから、120万円を増額補正するものでございます。増額の主な要因といたしましては、再生可能エネルギー発電促進負荷金の単価の改正に伴い、昨年5月から電気料金が値上げされたこと、また港湾施設内で開催されたイベントなどにより、電気や水道の使用料が増加したこと、さらには小用港において船舶用の給水施設を施設の昨年6月に整備し、利用の開始に伴い水道使用量が増加したことなどでございます。

以上で、歳入歳出予算の総額にそれぞれ120万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,520万円とする港湾管理特別会計補正予算（第1号）の説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

これより、質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第31号

○議長(林久光君) 日程第7、議案第31号 平成29年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算(第1号)を議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長(明岳周作君) ただいま、上程されました議案第31号 平成29年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算(第1号)でございます。

平成29年度江田島市の地域開発事業特別会計補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条 歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ6,380万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3,419万4,000円とする。

第2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

内容につきましては、土木建築部長から説明をいたします。よろしく願いいたします。

○議長(林久光君) 木村土木建築部長。

○土木建築部長(木村成弘君) それでは議案第31号 平成29年度江田島市地域開発事業特別会計補正予算(第1号)につきまして、歳入歳出補正予算事項別明細書により御説明いたします。

事項別明細書の156、157ページをお願いいたします。

歳入につきましては、1款財産収入、1項財産売り払い収入、1目不動産売り払い収入におきまして、土地売り払い収入を江田島町小用ウシイシ地区の水産企業移転用地2区画とアカハ子住宅団地1区画の計3区画分見込んでおりましたが、売却できたのは、水産企業移転用地の2区画のみであったことから、残る1区画分の土地売り払い収入440万4,000円を減額補正するとともに、2款繰入金、1項1目、一般会計繰入金におきまして、歳出の減額補正にあわせ、一般会計繰入金5,940万2,000円を減額補正するものでございます。

158、159ページをお願いいたします。

歳出につきましては、1款1項1目地域開発事業費におきまして、広島県が施行する国道487号小用バイパス道路改良事業に伴う、ウシイシ地区第2工区埋め立て工事にあわせ、本市が施行します水産加工場用地埋め立て工事を、広島県との基本協定に基づき、県に委託し施行する予定としておりましたが、関係地権者との用地交渉に時間を要し、今年度の施行が困難となったことから、この埋め立て工事に係る建設工事委託料6,380万6,000円を減額補正するものでございます。

以上で、歳入歳出予算の総額から、それぞれ6,380万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ3,419万4,000円とする地域開発事業特別会計補正予算（第1号）の説明を終わります。

○議長（林久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより、討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第32号

○議長（林久光君） 日程第8、議案第32号 平成29年度江田島市水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました、議案第32号 平成29年度江田島市水道事業会計補正予算（第3号）でございます。

内容につきましては、企業局長から説明をいたします。

よろしく願いいたします。

○議長（林久光君） 道丹企業局長。

○企業局長（道丹幸博君） それでは、議案第32号について御説明いたします。

このたびの補正は、平成29年第6回定例会において、議決いただいた議案内容の誤りの訂正と、今年度事業の執行見込みによる事業費の減額と、それに伴う財源増減額の補正を行うものです。

水道事業会計補正予算書1ページをごらんください。

第1条 平成29年度江田島市水道事業会計補正予算（3号）は次に定めるところによります。

第2条 予算第4条に定めた第1款資本的支出、第1項建設改良費5億5,092万2,000円を5億5,027万2,000円に記載の誤りを改めるものです。

今後このようなことがないように、十分作業確認を行ってまいります。

申しわけございませんでした。

引き続き、第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

収入について、第1款水道事業収益、第2項営業外収益を908万4,000円の減額補正し、第1款水道事業収益の補正後合計額を8億3,890万2,000円とするものです。

支出についてでございます。

第1款水道事業費用、第1項営業費用を946万8,000円の減額補正し、第2項営業外費用を1,562万1,000円の増額補正し、第1款水道事業費用の補正後合計額を7億3,662万7,000円と改めます。

第4条 予算第4条本文括弧書き中、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億7,225万4,000円を、3億7,815万円に、当年度分消費税及び地方消費税、資本的収支調整額4,017万1,000円を2,914万円に、及び建設改良積立金2億1,486万6,000円を2億3,179万3,000円に改め、資本的収入及び支出の予定額を補正するものです。

収入についてでございます。

第1款資本的収入、第1項企業債3億円を1億5,000万円の減額補正し、第6項補助金2,000万円を489万6,000円の減額補正し、第1款資本的収入の補正後合計額を1億7,010万5,000円と改めるものです。

支出についてでございます。

第1款資本的支出、1項建設改良費1億4,900万円の減額補正をし、第1款資本的支出の補正後合計額を5億4,825万5,000とするものです。

補正の内容につきましては、3ページの実施計画書をごらんください。

上段の収益的収入についてでございます。

水道事業収益の第2項営業外収益、第6目消費税及び地方消費税還付金でございます。これは工事費の減額により、支払う消費税が減額となり、預かった消費税より支払った消費税が少なくなるため、消費税の還付金を減額するものでございます。

中段の支出についてでございます。

第1款第1項営業費用946万8,000円の減額補正をし、第1款第2項営業外費用1,562万1,000円の増額補正をするものです。増額の理由としましては、先ほどの消費税還付金の減額に伴い、消費税を税務署に支払うことになるため、費用の消費税を増額補正するものでございます。

続きまして、資本的収入でございます。

第1項企業債の借り入れの減額によるものです。これは工事費等の入札残により減額補正したものでございます。

第6項補助金、国からの国庫補助金の内示により減額補正したものです。

下段の資本的支出でございます。

第1款資本的支出、第1項建設改良費、第2目水道改良費でございます。これは委託

料工事費の入札残による減額補正によるものです。

2ページに戻っていただきまして、第5条 予算第5条に定めた継続費の予定額を次のとおり改めるものです。

第1款資本的支出、第2項建設改良費3億8,900万円を2億5,386万4,000円に、これも工事費の入札残で減額補正を行うものです。

第6条 予算第7条に定めた企業債の限度額を次のとおり改め、3億円を1億5,000万円に減額補正を行うものです。

キャッシュフロー計算書は4ページ、継続費に関する調書は5ページに、費目別内訳計算書は6ページ、7ページに記載してあるとおりでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第9 議案第33号

○議長（林 久光君） 日程第9、議案第33号 平成29年度江田島市下水道事業会計補正予算（第2号）を議題といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま上程されました、議案第33号 平成29年度江田島市下水道事業会計補正予算（第2号）でございます。

内容につきましては、企業局長から説明をいたします。

よろしく願いいたします。

○議長（林 久光君） 道丹企業局長。

○企業局長（道丹幸博君） それでは、議案第33号について御説明いたします。

このたびの補正は、今年度の事業執行見込みによる事業費の減額と、それに伴う財源

の増減額の補正を行うものです。

下水道事業会計補正予算書、1ページをごらんください。

第1条 平成29年度江田島市下水道事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによります。

第2条 平成29年度江田島市下水道事業会計予算（第3条）に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

収入についてでございます。

第1款下水道事業収益の第1項営業収益を752万9,000円の増額補正をし、第2項営業外収益を6,178万9,000円の減額補正を行い、第1款下水道事業収益の補正後合計額を11億2,353万2,000円とするものです。

支出についてでございます。

第1款下水道事業費用の第1項営業費用を5,751万6,000円の減額補正をし、第2項営業外費用を50万円の増額補正を行います。第1款下水道事業費用の補正後合計額を11億2,123万3,000円とするものです。

補正の内容についてですが、3ページの実施計画書をごらんください。

収益的収入及び支出の表でまず、下段の支出についてでございます。

下水道事業費用の第1項営業費用の管渠費、処理場費及び普及促進費、主なものとしましては、委託料の入札残による減額でございます。

第2項営業外費用については、消費税及び地方消費税の調整額であります。

上段の収入に移りまして、下水道事業収益の一般会計負担金、一般会計補助金の執行見込みによる支出に伴う増減を行っております。

1ページに戻っていただきまして、第3条本文にあるように予算第4条本文括弧書き中、資本的収入が資本的支出に対し不足する額、2億6,738万円を2億6,569万6,000円に、過年度分損益勘定留保資金4,671万8,000円を4,503万4,000円に改め、第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正するものです。

収入につきまして、第1款第2項出資金1,719万4,000円の減額補正をし、第3項国庫補助金3,402万7,000円を減額補正し、第4項負担金440万円を減額補正し、第1款資本的収入の補正後合計額を5億314万5,000円とするものです。

支出についてでございます。

第1款資本的支出の第1項建設改良費を5,730万5,000円の減額補正をし、第1款資本的支出の補正後合計額を7億6,884万1,000円とするものです。

資本的収入補正の内容につきましては、第2項出資金について先ほどの支出の減に伴う減額、第3項国庫補助金については、要望した額により減額されて交付されたためです。

第4項負担金、一般会計負担金については、収入見込みより減額を行っております。

資本的支出、補正の主な内容としましては、処理場整備費委託料の入札残による減額を行っております。

第3条 予算第9条に定めた一般会計補助金6, 178万9, 000円の減額補正をし、8, 376万2, 000円に改めるものです。

キャッシュフロー計算書は5ページに、費目別内訳書は6ページ、7ページに記載しております。

8ページ、9ページには予算繰り越し計算書を記載しております。繰り越しの理由でございしますが、飛渡瀬地区で水道工事、水路改良工事、下水道工事と複数の工事が重なり合い、交通規制を行う上で、交通渋滞を少しでも緩和できるよう配慮しました。調整した結果、2カ月間の不足の日数を要したものであり、そのため年度内の完成が見込めなくなり、繰り越すものでございます。

処理場整備事業は、日本下水道事業団へ工事委託している事業であります。

下水道事業団が発注した中央浄化センター及び高田浄化センター更新改築工事の入札が不調に終わり、入札条件や工事計画の再検討及び入札手続に、4カ月余りの猶予の日数がかかり、不測の日数を要しました。再度入札を行い、1月22日落札して業者が決定したと事業団から報告がありました。そのため年度内の工事の完成が見込めなく、繰り越すものでございます。

また、このたび複数の工事によって、飛渡瀬地区には交通渋滞を招き市民の皆様には大変御迷惑をお掛けして申しわけございませんでした。

以上で説明を終わります。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

本議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと思いません。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。よって本議案は委員会付託を省略いたします。

これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決を行います。本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

起立多数です。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第10 市長施政方針

○議長（林 久光君） 続きまして、日程第10、市長施政方針を行います。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） それでは、平成30年度江田島市当初予算案の提出に際しま

して、施政方針を述べさせていただきます。

昨年は、米国のドナルド・トランプ大統領の就任に始まり、韓国の政権交代、北朝鮮による核実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験など、我が国を取り巻く環境に大きな影響を及ぼす出来事が起こりました。

一方、国内においては昨年10月の衆議院議員選挙の結果を受け、安定した国政運営が続いております。

昨年12月に発表された国の経済見通しによれば、平成30年度は雇用、所得環境の改善が継続する中で、民需を中心とした景気回復や、物価上昇によりデフレの脱却に向けた前進が見込まれるとしております。年明け以降東京株式市場で日経平均株価が26年ぶりの高値を記録するなど、経済に関し明るい傾向がみられておりましたが、今月上旬に株価が急落しており、今後の動向を注視する必要があると感じております。

一方、人口問題についてはまだ好転に向けた兆しを掴み取れておりません。本市の1月1日現在の人口は、平成29年の2万4,596人に対し、514人少ない2万4,082人となりました。

昨年末に公表されました、厚生労働省の平成29年人口動態統計の年間推計によりますと、我が国の出生数は、戦後最少の約94万人、死亡数は戦後最多の約134万人とされており人口減少は、依然として我が国全体の大きな課題となっております。

全国的に見ても、過疎地域とされる市町村において、人口増加に転じている例はほとんどありません。しかしながら、A級グルメや子育て支援を推進する島根県邑南町や、特産品のブランド化や島留学を推進する同県海士町など、条件不利地にあっても地域の創意工夫により、転出者数を転入者数が上回る、社会増傾向を実現している自治体が見受けられるところです。

国は昨年12月に発表した、新しい経済政策パッケージにおいて、教育無償化など人材への投資を内容とする人づくり革命、ビッグデータの活用などを通じた生産性向上を内容とする生産性革命に対し、2020年まで集中投資を行うこととしております。

また、県は来年度の県政運営の基本方針において、仕事や暮らしに抱く希望を諦めることなく、追求することができる欲張りなライフスタイルの実現を目指し、乳幼児期の教育、保育の質の向上や、人づくりに重点を置いた中山間地域の地域力強化、ビッグデータ等の技術を活用した生産性革命などに注力するとしております。

このように国、県の施策からは、全国的な人口減少社会の将来の姿を見据え、円滑に社会を運営していくための人材づくりや技術開発に取り組む意志が伺えるところです。

本市といたしましては、こうした国や県の取り組みを活用しつつ、人口減少傾向の改善を図るための取り組みを創意工夫しながら、強力かつ粘り強く続けていく必要があると感じているところでございます。

平成29年6月に見直した第2次財政計画では、投資的経費の増加などにより、平成31年度までの財源不足額の累積が、約21億円に及ぶと見込んでおります。しかしながら、人口減少傾向の改善を実現するには、厳しい財政状況下にあっても、業務の見直しを図りつつ、第2次総合計画及び総合戦略の理念や、目標達成のために必要な事業にしっかりと投資するという、めり張りのついた施策展開が必要となってまいります。

平成30年度予算では、私の市政運営のテーマでもある「住む人も訪れる人も『ワクワクできる島』えたじま」づくりに向け、引き続き仕事の創出、子育てしやすい環境づくり及び健康寿命の延伸の三つを重点テーマとして掲げ、全力で推進することにより、人口減少傾向の改善に向けたチャレンジのさらなる深化を図ってまいります。

それでは、重点テーマであります「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」及び「健康寿命の延伸について」でございます。

まず、1点目のしごとの創出についてでございます。

就農への支援として、営農を開始、再開する農業者が行う、荒廃農地の再生事業などを支援する、荒廃農地等利活用促進事業や新規就農者による農業用ハウス設備等の整備などを支援する、新規就農者支援対策事業費補助金を盛り込んでおります。

また、仕事の交流拠点であるフウドにおいて、企業進出等を誘引する取り組みを実施する、企業お試しサテライトオフィス事業や、起業や新分野進出、特産品開発などを支援する江田島市がんばりすと応援事業など市内に仕事を創出するための取り組みを盛り込んでおります。

なお、観光協会、商工会、市等で構成する観光戦略チーム「一步」において、一体となった観光施策を立案、実施することにより、観光客の確保による市内消費を促進し、仕事の場となる産業の活性化を図ってまいります。

本市の転出超過の最も大きな要因は、仕事を理由とするものでございます。

仕事づくりに関する施策を着実に積み重ねていくことにより、人口減少に関する本市の最大の課題について、改善を図ってまいります。

次に、2点目の子育てしやすい環境づくりについてでございます。

安全でよりよい保育環境を提供するための、認定こども園のうみ新築工事や、妊娠前から就学まで幅広い相談を受ける体制を確保するための、子育て支援センター新築工事、また老朽化した切串小学校の校舎大規模改修事業や、市内小学校へのエアコンを設置する江田島市立小学校空調設備整備事業など、よりよい保育、教育環境の整備を図るための施策を盛り込んでおります。

また、本市が誇る理科、環境教育の拠点施設である、さとうみ科学館について、リニューアル整備に向けた調査対象や資料整備を行うことにより、本市ならではの魅力的かつ魅力的な教育の向上を図ることとしております。

なお、引き続き子供の通学費を支援する定住促進通学費支援事業や、市内定住者の奨学金の支払いを支援する定住促進奨学金返還支援事業など子育て世代の負担を軽減する取り組みを盛り込んでいくところです。

これらにより「子どもを産みやすい子育てがしやすい江田島市」そして「島ならではの魅力的な教育を受けることができる江田島市」づくりを推進し、未来を担う人材を育ててまいります。

次に、3点目の健康寿命の延伸についてでございます。

市民の皆様の健康意識を高め、健康寿命の延伸を図るためモデル地域において、住民主体の健康づくりを支援する健康なまちづくり事業や、介護予防などを行う通いの場への参加活動に対するマイレージポイントの付与により、地域における介護予防を推進す

る地域介護予防活動支援事業を盛り込んでおります。

また、他市町との協調により、医療相談等に24時間365日対応の救急相談センターを設置する広島広域都市圏救急相談センター事業や緊急時に必要な医療情報を迅速に提供できるよう高齢者等に対し、救急医療情報キットを交付する命のバトン交付事業、さらには使いやすいお出かけ手段を確保するため、路線バスの運行改善に取り組む路線バス経営サポート事業などを盛り込み、地域で安心して暮らすことができる環境の整備を図ることとしております。

これらにより、市民の皆様が幾つになっても健康で活力にあふれ、かつ安心して暮らしを営むことができる江田島市づくりに取り組んでまいります。

先ほども申し上げたとおり、人口減少傾向の改善を図るには、見直すべきところは見直し、必要などころにはしっかり投資するという、メリ張りのついた施策展開を図るとともに、限りある財源、人員などの経営資源を最大限、効率的かつ効果的に運用していく必要がございます。

このため引き続き第3次行財政改革大綱により財政健全化を図りつつ第2次総合計画総合戦略並びに第2次財政計画を一体のものとして推進することにより、本市の人口減少の改善を図り「『ワクワクできる島』えたじま」の実現に向けて着実に歩みを進めてまいります。

今回の予算は、江田島市の人口減少傾向の改善に向け、フード等を活用した企業進出や創業、新商品開発など市内の仕事に、新たな変革を創出する施策や幼年期から高齢者まで、全ての年齢層の方が、魅力的な暮らしを安心して営むための基盤を整備する施策を中心に構築しております。

このため、今回の予算は変革を生み出し暮らしの魅力を高める予算、とすることができるとはなれないかと考えております。

平成30年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ、1億5,000万円、0.9%減の157億円といたしました。

また、特別会計は9会計で前年度と比べ、9億3,800万円、10.4%減の80億5,300万円、企業会計は2会計で、前年度と比べ2億800万円、6.1%減の32億1,500万円といたしました。企業会計を含む総予算規模は269億6,900万円で、前年度比4.6%の減でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税では個人所得割額の増による個人市民税のほか、法人税割の増による法人市民税、太陽光発電設備促進のための特例措置の廃止による固定資産税の増加などにより、前年度と比べ3,800万円、1.5%の増、地方交付税は、普通交付税で合併特例加算の縮減開始から4年目となり、縮減額が0.7となるものの、その他の教育費など基準財政需要額の算定見直しなどを考慮し、前年度と比べ1億8,000万円、3.1%の減を見込んでおります。

国庫支出金は、国庫負担金で生活保護費負担金の減少があるものの、国庫補助金で土木費国庫補助金の空き家対策総合支援事業補助金の増加などにより、5,700万円、4.6%の増。

県支出金は、県補助金で民生費県補助金や農林水産業費県補助金の減少などにより2,

900万円、3.5%の減としております。

市債は、消防庁舎建設事業、子育て支援センター整備事業などの事業費が増加したものの、公共施設再編整備事業、保育施設整備事業の事業費の減、臨時財政対策債の減少により、前年度と比べ7,600万円、3.2%の減としております。平成31年度までに活用が集中いたします合併特例債の発行額は4,100万円の増としております。

なお、財源調整として前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では財政調整基金から6億7,000万円を見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは、赤字となり、平成30年度末の市債残高は平成29年度末に比べ、3億3,600万円増加する見込みでございます。

歳出におきましては、義務的経費は市債利子償還金の減による公債費、生活保護費の減などによる扶助費が減少したものの、職員給与費及び共済費などの増により、人件費が増加したことから、全体で1,100万円、0.2%の増としております。

投資的経費については、社会資本整備総合交付金等の国、県補助金を活用した漁港機能保全工事、道路維持、道路改良事業、（仮称）高田交流プラザ大規模改修工事に伴い、補助事業が6,700万円、14.1%の増、港湾建設事業県負担金、漁場環境保全創造事業負担金などの増加による、県営事業負担金が7,800万円、73.3%の増としております。

また、単独事業は継続費事業で実施する消防庁舎建設工事、認定こども園のうみ新築工事など、大規模事業の実施はあるものの2億1,600万円、9.7%の減となり、全体で7,200万円、2.6%の減としております。

補助費等については、下水道事業会計への繰り出し（補助）の減少はあるものの、平成29年度に創設いたしました通学定期券購入補助や奨学金返還支援補助の継続、事業用太陽光発電設備補助金の創設などにより1,900万円、0.9%の増、繰出金については、地域開発事業特別会計への繰り出しの減少などにより600万円、0.6%の減としております。

それでは、平成30年度の主要施策について、第2次総合計画に掲げる7項目の施策体系ごとに新規、拡充事業を中心に説明いたします。

まず、1点目の教育、文化部門である「人が育ち、輝くまち」についてでございます。

①教育環境の充実を図るため、老朽化した切串小学校校舎の大規模改修並びに、市内小学校の普通教室、特別教室へのエアコン設置に関する設計を実施いたします。

②理科、環境教育の拠点施設であるさとうみ科学館について、新築を整備方針とした上で、リニューアルに向けた調査検討や資料整備を実施いたします。

③小、中学校において、地域学習やボランティア活動などを通じ、児童生徒がふるさとを実感できる教育活動を展開いたします。

④スポーツ活動への多様な主体の参加を促進するため、本市ゆかりのスポーツ選手の紹介やパブリックビューイングの開催などの取り組みを実施いたします。

次に、2点目の産業、観光部門である「元気な産業、観光を生み出すまち」についてでございます。

①農業の担い手の育成、確保を図るため、新規就農者が農業用ハウス設備等を整備す

る際の支援を対象分野を拡充の上、実施いたします。

②農作物の被害防止、抑制のため、有害鳥獣捕獲対策協議会による駆除したイノシシ等の有害鳥獣の埋設機材の導入を支援いたします。

③起業、新分野進出、特産品開発及びブランド化を推進する企業や団体、個人への支援制度を対象分野を拡充の上、統合いたします。

④観光協会、商工会、市等で構成する観光戦略チーム「一步」において、一体となった観光施策を立案、実施いたします。

次に、3点目の福祉、保健部門である「健康で安心して暮らせるまち」についてでございます。

①広島広域都市圏を構成する24市町の協調により、市民からの医療相談等に24時間、365日対応する救急相談センターを設置いたします。

②市民の皆様の健康意識を高め、健康寿命の延伸を図るため、モデル地域を選定の上、地域住民が主体となった健康づくりに関する取り組みを支援いたします。

③緊急時にかかりつけ医や持病、服薬等の医療情報を迅速に提供できるよう、高齢者等に対し救急医療情報キットを交付します。

④介護予防などを行う通いの場への参加活動に対するマイレージポイントを付与し、地域による健康づくりを支援する制度を創設します。

⑤安全でよりよい保育環境を提供するとともに、妊娠前から就学まで幅広い相談を受ける体制を確保するため、認定こども園のうみ及び子育て支援センターを新築いたします。

次に、4点目の生活、環境部門である「生活と環境を守り高めるまち」についてでございます。

①山に親しみ、大切さを伝える機会を創出するため、県内各地で展開される「ひろしま『山の日』県民の集い」行事に、メイン会場として参加いたします。

②差別の実態調査を行うため、アンケートによる市民への意識調査を行うとともに、人権教育、啓発指針を改訂いたします。

③大規模災害発生時の廃棄物の処理を適正かつ迅速に行うため、災害廃棄物処理計画を策定いたします。

④災害時に発生する土砂や河川等のしゅんせつ土の受け入れ場所を確保するため、大柿町の深江地区のオリーブ園北側に、災害土砂処分場を建設いたします。

次に、5点目の安全、安心部門である「災害に強く安心して暮らせるまち」についてでございます。

①子育て世代の防災意識の向上と子育てしやすい環境づくりに寄与するため、消防本部において、キッズコーナーの設置や救急車、消防車の見学等を実施いたします。

②災害時の被害軽減及び地域防災力の向上のため、防災資材の補充、整備を行うとともに、市民貸与のための防災資材を備蓄いたします。

③のり面崩落による人家への被害を未然に防止するため、急傾斜地崩壊対策工事を実施いたします。

④防災、減災の拠点施設である消防本部（署）及び能美出張所の新庁舎の建てかえ工

事を実施いたします。

次に、6点目の基盤部門である「しっかりとした基盤を備えたまち」についてでございます。

①地域の核となる施設を整備すべく、老朽化した大柿市民センターを解体撤去し、現所在地に新築するための設計を実施いたします。

②観光、交流人口の拡大を図るため、鹿田公園をオリーブをテーマとした公園として整備するための設計を実施いたします。

③空き家の利用促進や市民の生活環境の保全を図るため、空き家の適正管理、活用及び除却に関する補助制度を創設いたします。

④空き家の利用を促進するため、市が空き家を借り上げ改修したのちに、希望者に貸し出す取り組みを実施いたします。

⑤路線バスの利用者の確保や利便性の向上を図るため、専門知識を有する機関に対し、路線バスの運行改善に関する調査や施策の実施等への支援を委託いたします。

次に、7点目の地域部門である「地域が元気でにぎやかなまち」についてでございます。

①市内への企業進出等を促進するため、しごとの交流拠点であるフードにおいて、市内での仕事や暮らしなどを体験する視察ツアーの開催や、お試し勤務の誘致を実施いたします。

②市のホームページやSNSを活用した情報発信や、メディアへの情報提供などに従事する嘱託員を採用し、市の魅力やイベント情報等に関する発信力の向上を図ります。

③協働のまちづくりのさらなる活性化を図るため、地域の主体的な活動の実施を支援いたします。

④外国人市民の交流や多文化共生社会の実現を図るため、市民や関係団体との協力のもと、国際交流協会えたじまを設立いたします。

次に、その他事業でございます。

①議会において実施される、インターネットサービスを利用した本会議の中継、録画配信に必要なシステムを構築いたします。

②本市出身で、衆議院議長や文部大臣等を歴任された、灘尾弘吉先生の顕彰像建立を記念して、埋設されたタイムカプセルを開封するとともに、記念行事を開催いたします。

最後に、企業会計についてでございます。

水道事業については、安全でおいしい水の安定供給に努めるとともに、配水管の整備や老朽管更新事業を推進いたします。

下水道事業については、持続的、効率的な下水道整備と維持管理に努めるとともに、健全経営を目指してまいります。

なお、都市圏在住者や修学旅行生などとの「縁」の拡大や、地域おこし協力隊の登用、市内への企業の誘引や起業支援など、人が定着できる「しごと」づくり、通学費や奨学金など、子育て世代の負担の軽減、里海学習の実施や、市内唯一の高校の活性化支援など総合戦略における「縁」をキーワードとした重点プロジェクトの関連事業を引き続き実施してまいります。

施策を真に実効性のあるものとするために、最も重要なのは、取り組む人材の熱意でございませう。高い目的意識と周囲をひきつける熱量を持った、江田島市政を担う職員を育成すべく、他市町との人材交流や職員研修の充実についても、積極的に取り組んでまいります。

引き続き、江田島市そして市民にとって何が最善かという点を唯一の判断基準として、議会の皆様や市民の皆様と議論を尽くすとともに、人口減少傾向の改善に向け、全精力を持って取り組んでまいりますことを申し上げ、新年度の予算説明とさせていただきます。

これで私の施政方針を終わります。

ありがとうございました。

○議長（林 久光君） これです長施政方針を終わります。

この際、暫時休憩いたします。

14時25分まで休憩いたします。

（休憩 14時10分）

（再開 14時25分）

○議長（林 久光君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第11 議案第1号～日程第22 議案第12号

○議長（林 久光君） この際、日程第11、議案第1号 平成30年度江田島市一般会計予算から日程第22、議案第12号 平成30年度江田島市下水道事業会計予算までの12議案を一括議案といたします。

直ちに、提出者から提案理由の説明を求めます。

明岳市長。

○市長（明岳周作君） ただいま一括上程されました、議案第1号から議案第12号までの平成30年度の各会計の当初予算案について、御説明いたします。

まず、議案第1号 平成30年度江田島市一般会計予算でございませう。

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、157億円と定めるものでございませう。

先ほど私が施政方針で述べましたものが、この一般会計の当初予算の中に網羅されております。今回の予算は、第2次江田島市総合計画の4年目、江田島市総合戦略の3年目の予算であるとともに、私の就任後2度目の予算となります。また、新体制での議会では、1度目の御審議でございませう。

予算編成に当たりましては、私が所信表明で述べましたように「仕事の創出」「子育てしやすい環境づくり」そして「健康寿命の延伸」の三つの重点テーマをさらに磨きをかけて、引き続き私の市政運営のテーマであります、住む人も訪れる人も「『ワクワクできる島』えたじま」を着実に歩み進めるための施策を随所に盛り込み、編成いたしております。

予算規模は、前年度当初予算と比較いたしますと1億5,000万円、0.9%の減額となっております。しかしながら、江田島市の人口減少傾向の改善に向け、フード等を

活用した企業進出や創業、新商品開発など、市内の「しごと」に新たな変革を創出することや、全ての年齢層の方が魅力的な暮らしを安心して営むための基盤整備を進めること、この2点を中心に構築することで充実した内容となっております。

このため、今回の予算は「変革を生み出し、暮らしの魅力を高める予算」であると言えるものでございます。

以下、議案第2号から議案第10号までは、平成30年度江田島市国民健康保険特別会計予算を初めとする、9つの特別会計予算。

議案第11号及び議案第12号は、平成30年度江田島市水道事業会計予算、平成30年度江田島市下水道事業会計予算と二つの企業会計予算の提案でございます。

内容につきましては、これから慎重かつ十分な御審議をいただくとともに、何とぞ適正なる御判断、御議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（林 久光君） 以上で提案理由の説明を終わります。

お諮りします。

ただいま一括議題といたしました、議案第1号 平成30年度江田島市一般会計予算から議案第12号 平成30年度江田島市下水道事業会計予算までの12議案については、議長を除く17人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、各常任委員会の所管事項別に各分科会へ分割付託し、休会中の審査とすることにしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本12議案は、議長を除く17人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して休会中の審査とすることに決定いたしました。

お諮りします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の正副委員長の選任については、いかがいたしましょうか。

（「議長一任」の声あり）

議長一任とのことですが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

それでは、議長において委員長に山本秀男議員、副委員長に酒永光志議員を指名いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

なお、明日2月28日から3月14日までの15日間は予算審査等のため休会とし、次回は3月15日に開会いたしますので、午前10時に御参集お願いいたします。

本日は、御苦労さまでした。

（散会 14時30分）